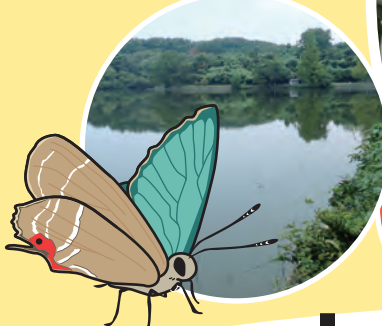


里山の生きものをつかまえてみよう!

さん か しゃ
参加者
ぼ しゅう ちゅう
募集中

てい いん がく かい めい
定員各回25名



さと やま
里山の

い
こんな生きものが
みられるかも...



4 質の高い教育を
みんなに

15 陸の豊かさも
守ろう

17 目標を達成しよう

エコネット 生きもの調査体験会

さとやま た もり かわ さかな むし おお い
里山の田んぼや森や川は、魚やカエルや虫など多くの生きもののすみかにもなっています。
い かんさつ ちいき しぜん ゆた たの まな
生きもの観察で、地域の自然の豊かさやつながりについて、楽しく学びましょう!

主催：吉見町・荒川流域エコネット地域づくり推進協議会（協議会事務局：国土交通省荒川上流河川事務所）

R5 **6月25日(日)** **午前9:30~12:00 / 午後13:00~15:30**
しゅうごう ばしょ よし み まち はつちようこ ごうえん ちゅうしゃじょう
集合場所：吉見町 八丁湖公園 駐車場



●プログラム～予定～

- ◎田んぼの生きもの調査体験
- ◎エコネット環境学習
- ◎八丁湖の生きもの観察（昆虫等）
- ◎思い出づくり（工作）

調査体験ではみんなで生きものをとって名前をしらべます（野外活動です）
内容は小学生向けです

●申し込み前にご確認ください●

- ◎どなたでも参加可能(定員各回25名/先着順/無料)ですが、小学生以下は必ず保護者の方とお越しください。
- ◎小雨の場合は内容を縮小して実施します(かんたん生きもの観察など)。荒天(大雨や暴風等)の場合は中止です。
- ◎生きものをとる道具はお貸しします。当日の持ち物などの詳細は、申し込み代表者の方へ、後日、お知らせします。

申し込み方法 **無料/要申し込み/先着順** (定員になり次第、締め切らせていただきます)

QRコードまたはURLよりお申し込みください⇒ <https://forms.gle/4APaNHqnkktKuNvq6>

※申し込みページにアクセスできない場合、問合先まで電子メール(または電話)で、必要事項をお知らせください。
【必要事項】希望時間(午前か午後)、人数(大人・子供)、代表者名、代表者連絡先(メールアドレスまたは電話番号)
※申し込み後、事務局から折り返し連絡(持ち物等)があります。(定員に達して受け付けできなかった場合、その旨を連絡します。)
※申し込みから3日以上連絡がない場合、送信エラーなどの可能性がありますので、電話でお問い合わせください。



問合先：**株式会社建設環境研究所** (担当：佐野 090-5500-3387)
電子メール：23-1372@kensetsukankyo.co.jp / TEL：03-3988-2632

※電話にはでられないこともありますので、その場合、しばらくたってからかけ直してください。

「荒川流域エコネット地域づくり推進協議会」では



人と自然が安心して暮らしていける地域づくりに向けて、

(例えば、生きもの調査や環境学習の促進など、)

地域関係者が連携して、

エコロジカル・ネットワーク形成の取り組みを進めています



荒川流域エコネット形成による

荒川やその周辺地域において
さまざまな生きものの生息環境を
守り・育み・つなげます



豊かな地域づくりを目指して

コウノトリなど多様な生物のすむ
自然豊かな環境づくりは
安心して暮らせる未来につながります



地域が連携・協力しています

荒川流域の地域関係者が
協議会において連携を図りながら
取り組みを進めています

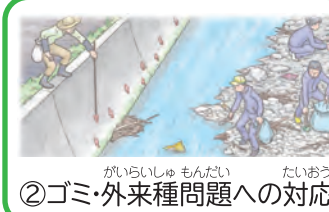


(研究者、市民団体、県市町、国)

取り組みの実現には、「この空にコウノトリを羽ばたかせよう」と考え・行動する、多くの人の参加・協力が必要です。そこで、地域関係者が主体的に実施できること、また連携・協力することでさらなる効果が期待できることを、「荒川流域エコネット地域づくりアクションプラン(令和3年3月)」にとりまとめました。現在、このプランに関連する各種の対策・検討を、地域関係者が連携・協力しながら進めています。

荒川流域エコネット地域づくりアクションプラン

生物の 生息環境保全 に関するプラン



地域振興 経済活性化 に関するプラン



Q 荒川流域エリアにおける「エコロジカル・ネットワーク形成」とは…?

- 私たち人間は、河川から食料や水の供給を受けたり、森林による気候調節によって守られたりと、自然からさまざまな恵み(生態系サービス)を受けて生活しています。この日々の豊かさや安全な暮らしに欠かせない生態系サービスを支えているのが「生物多様性」です。
- 生物多様性を守るには、広く、さまざまな場所で、自然環境を保全・再生していく必要があります。これを効果的に進めていくために、いまある自然拠点をつなげる「エコロジカル・ネットワーク」の考え方が重要です。自然拠点のつながりを強くするには、拠点をむすぶだけでなく、拠点を大きくしたり、たくさんつくるのが有効で、そのためには多くの人の力が必要です。
- 荒川流域エリアの自然拠点は、河川・水路・水田・森林・公園など多種多様で、関わる人もさまざまです。そこで、自然のつながりを強くする「エコロジカル・ネットワーク形成」に向けて、エリア内の多様な地域関係者が連携・協力して取り組んでいるのです。

